

せいわにし 学校だよ!

令和7年11月26日(水)
伊賀市立成和西小学校 No. 26
伊賀市大内624番地
<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

5年生・6年生「いのちの学習」

11月13日(木)、今年度も思春期保健相談師の中谷 奈央子先生に来ていただき、5・6年生で「いのちの学習」をしました。5年生は、「体と心を守るバリア」というテーマで、思春期の体と心の変化、自分の体と心を守る方法(NO…いやと言う、GO…その場をはなれる、TELL…だれかに話す)、自分の意思を相手に示すとともに相手の意思を尊重する大切さについて学びました。

6年生は、「普通って何だろう」というテーマで、人それぞれの多様性について学習しました。身体や心の成長には個人差があり、一人ひとりが異なるペースで成長することや、体の性別で、その人の「好きなもの」「服装」「職業」などを決めつけないことなどについて、お話を聞きました。



3年生市民館学習

11月17日(木)、3年生が下郡市民館で人権学習をしました。はじめに市民館の田中館長さんに、案内してもらって、市民館の施設について学習しました。下郡市民館には、市民館と教育集会所・コミュニティーセンターの2つの建物があることや、教育集会所では、小・中学生が地区学習会をしていることを知りました。また、地区学習会で作った「桜並木(木津川沿い)」の掲示物や日本で初めての人権宣言である「水平社宣言」についても説明してもらいました。

次に館長さんから、市民館の役割・仕事について話を聞きました。市民館は、だれもが安心して幸せに暮らせるよう「みんなが元気で楽しくすごすお手伝いをするところ」「いじめや差別をなくす中心になるところ」と教えてもらいました。また、地区学習会では、「地域のことを知って、地域のことを好きになる」「友だちのことを知ってつながる」「身近にあるいろいろなおかしいことに気づく」学習をしていると聞きました。そして、最後に館長さんから、「成和西小学校3年生の学級目標は、『笑顔で協力して、安心できるクラスです。自分の気持ちを相手に言える、相手の気持ちも聞ける学級にしていきましょう。一人で言えないときには、みんなで声かけや注意をしていきましょう。』というお話をがありました。



4年生 アンプティサッカ一体験学習

11月19日(水)、アンプティサッカー選手の辻さんと審判員をされている中出さんに来ていただき、4年生で、アンプティサッカーの体験と聞き取り学習をしました。

はじめに、辻さんと中出さんに教えていただき、アンプティサッカーを体験しました。クラッチ(杖)を使って前や後ろに進んだり、ボールをけったりする練習をしました。クラッチを持つ両腕と片足だけで体を支えて移動するというルールで、慣れるまで時間がかかり、また、全身の筋肉を使うことがわかりました。

その後、2チームに分かれて、実際にアンプティサッカーの試合をしました。最初は、けってはいけない方の足でボールをけってしまうこともありましたが、しだいにパスやシュートができるようになりました。辻さんは、動きがたいへん素早く、ドリブルやパスも、とても上手でした。

次に、中出さんからアンプティサッカーの歴史やルール、日本国内での広がりについて、お話を聞きました。辻さんが所属するチームも含め、全国で11チームあります。アンプティサッカーのワールドカップも開催され、日本代表チームも活躍しています。辻さんは、アンプティサッカーと会うことで、障がいをもつようになってからの生活や気持ちに大きな変化が生じたこと、練習する中で日本代表になりたいという「夢」をもつたこと、そして、今も仕事をしながらアンプティサッカーを楽しんでいることを話されました。



👉アンプティサッカーとは…

病気や事故により、手や足に障がいのある人々がクラッチという杖を使って行うサッカー。1980年代にアメリカで始まり、現在では世界中に普及しています。日本では、2010年に最初のクラブチームが設立され、競技者数やチーム数も増加するなど広がりを見せています。